



横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和5年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針6 市役所の率先行動	31頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動 局・統括本部ごとの取組実績等

デジタル統括本部

1 事業の実績と取組など

- ・2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比42.1%減の0.012万トンとなりました。
- ・2023(令和5)年度のエネルギー消費量は、2013年度比32.8%減の2.6TJとなりました。
- ・民間施設を賃借しており、LED等高効率照明や太陽光発電設備の導入の対象となる施設はありません。また一般公用車の所有もありません。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況> 上段:実績、下段:増減率(基準年度比)

	基準年度 (2013年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
温室効果ガス排出量 [万t-CO ₂]	0.021	0.012	0.014	0.012 (▲42.1%)	—
エネルギー消費量 [TJ]	3.9	2.8	3.0	2.7	2.6 (▲32.8%)

<対策の取組状況>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
LED等高効率照明の導入	—	—	—	—
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	—	—	—	—

2 職員の取組

会議等において資料を電子データで共有するなど、ペーパーレス化を推進しました。また、グリーン購入を推進したほか、全職員を対象とした環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。